

横須賀市報

号外第 25 号

発行日	発行所	横須賀市小川町11番地 横須賀市役所
毎月	編集兼	横須賀市長
10日	発行人	上地克明
25日	印刷所	(有)宮村印刷所

目 次

告 示

- ◇令和2年度横須賀市一般会計歳入歳出決算ほか6件について..... 1
- ◇令和2年度横須賀市水道事業会計決算ほか2件について..... 4
- ◇令和3年度横須賀市一般会計補正予算(第8号)ほか1件について..... 12

告 示

横須賀市告示第188号

令和2年度横須賀市一般会計歳入歳出決算、同特別会計国民健康保険費歳入歳出決算、同特別会計公園墓地事業費歳入歳出決算、同特別会計介護保険費歳入歳出決算、同特別会計母子父子寡婦福祉資金貸付事業費歳入歳出決算、同特別会計公債管理費歳入歳出決算及び同特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算は、令和3年10月5日市議会において認定の議決を経ました。その要領は、次のとおりです。

令和3年10月8日

横須賀市長 上地 克明

令和2年度横須賀市一般会計歳入歳出決算 歳 入

款	項	決 算 額
1	市 税	59,323,206,751 ^円
	1 市 民 税	26,864,936,946
	2 固 定 資 産 税	23,062,072,862
	3 軽 自 動 車 税	577,259,616
	4 市 た ば こ 税	2,593,844,903
	5 特 別 土 地 保 有 税	482,529
	6 入 湯 税	6,019,500
	7 事 業 所 税	1,583,345,300
	8 都 市 計 画 税	4,635,245,095
2	地 方 譲 与 税	723,262,335
	1 地 方 揮 発 油 譲 与 税	169,980,000
	2 自 動 車 重 量 譲 与 税	494,544,000
	3 森 林 環 境 譲 与 税	33,058,000
	4 特 別 と ん 譲 与 税	25,680,334
	5 地 方 道 路 譲 与 税	1
3	利 子 割 交 付 金	33,984,000
	1 利 子 割 交 付 金	33,984,000
4	配 当 割 交 付 金	286,784,000
	1 配 当 割 交 付 金	286,784,000
5	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	338,437,000
	1 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	338,437,000
6	法 人 事 業 税 交 付 金	412,514,000
	1 法 人 事 業 税 交 付 金	412,514,000
7	地 方 消 費 税 交 付 金	8,141,142,000

1	地 方 消 費 税 交 付 金	8,141,142,000
8	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	16,438,388
	1 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	16,438,388
9	環 境 性 能 割 交 付 金	122,018,000
	1 環 境 性 能 割 交 付 金	122,018,000
10	国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	2,307,807,000
	1 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	2,307,807,000
11	地 方 特 例 交 付 金	411,841,000
	1 地 方 特 例 交 付 金	411,841,000
12	地 方 交 付 税	13,482,114,000
	1 地 方 交 付 税	13,482,114,000
13	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	51,497,000
	1 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	51,497,000
14	分 担 金 及 び 負 担 金	305,821,703
	1 負 担 金	305,821,703
15	使 用 料 及 び 手 数 料	3,378,812,679
	1 使 用 料	2,647,881,539
	2 手 数 料	730,931,140
16	国 庫 支 出 金	72,299,794,439
	1 国 庫 負 担 金	20,100,850,374
	2 国 庫 補 助 金	52,051,571,974
	3 委 託	147,372,091
17	県 支 出 金	9,384,475,370
	1 県 負 担 金	6,325,467,659
	2 県 補 助 金	2,217,163,491
	3 委 託 金	841,844,220
18	財 産 収 入	668,706,003
	1 財 産 運 用 収 入	140,441,623
	2 財 産 売 払 収 入	528,264,380
19	寄 附 金	182,090,583
	1 寄 附 金	182,090,583
20	繰 入 金	7,828,236,253
	1 基 金 繰 入 金	7,828,236,253
21	繰 越 金	1,626,446,981
	1 繰 越 金	1,626,446,981
22	諸 収 入	6,661,581,844
	1 延 滞 金、加 算 金、過 料	107,392,848
	2 市 預 金 利 子	26,292
	3 貸 付 金 元 利 収 入	1,780,298,000
	4 受 託 事 業 収 入	821,387,066
	5 雑 収 入	3,952,477,638
23	市 債	15,932,200,000

1	市 債	15,932,200,000
52	自動車取得税交付金	194,627
1	自動車取得税交付金	194,627
歳 入 合 計		203,919,405,956
歳 出		
款	項	決 算 額
1	議 会 費	789,845,774 ^円
1	議 会 費	789,845,774
2	総 務 費	18,408,987,765
1	総 務 管 理 費	15,601,618,225
2	徴 税 費	1,560,666,029
3	戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	804,086,772
4	選 挙 費	84,332,089
5	統 計 費	227,119,729
6	監 査 委 員 費	126,818,463
7	住 居 表 示 費	4,346,458
3	民 生 費	103,486,082,051
1	社 会 福 祉 費	69,736,227,768
2	児 童 福 祉 費	23,711,603,650
3	生 活 保 護 費	10,037,870,633
4	災 害 救 助 費	380,000
4	衛 生 費	7,074,495,523
1	保 健 衛 生 費	7,074,495,523
5	環 境 費	6,952,243,703
1	環 境 費	6,952,243,703
6	労 働 費	302,879,364
1	労 働 費	302,879,364
7	農 林 水 産 業 費	924,192,844
1	農 業 費	231,680,869
2	水 産 業 費	692,511,975
8	商 工 費	4,559,274,009
1	商 工 費	4,559,274,009
9	土 木 費	16,381,997,563
1	土 木 管 理 費	1,186,782,808
2	道 路 橋 り ょ う 費	3,227,342,242
3	河 川 費	229,345,311
4	港 湾 計 画 費	1,507,860,132
5	都 市 画 費	8,209,141,551
6	住 宅 費	2,021,525,519
10	消 防 費	6,306,159,446
1	消 防 費	6,306,159,446
11	教 育 費	16,727,326,051
1	教 育 総 務 費	4,956,039,969
2	小 学 校 費	4,228,393,289
3	中 学 校 費	3,618,735,504
4	全 日 制 高 等 学 校 費	1,051,565,002
5	定 時 制 高 等 学 校 費	13,604,635
6	幼 稚 園 費	54,319,201
7	特 別 支 援 学 校 費	208,569,782
8	社 会 教 育 費	1,528,210,877
9	保 健 体 育 費	1,067,887,792
12	災 害 復 旧 費	472,143,494
1	農 林 水 産 業 施 設 災 害 復 旧 費	285,230,220

2	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	186,913,274
13	公 債 費	17,151,135,561
1	公 債 費	17,151,135,561
14	諸 支 出 金	18,944,456
1	放 射 能 測 定 調 査 費	18,944,456
15	予 備 費	0
1	予 備 費	0
歳 出 合 計		199,555,707,604

歳入歳出差引残額 4,363,698,352円
うち基金繰入額 2,040,000,000円

令和2年度横須賀市特別会計国民健康保険費歳入歳出決算

歳 入		
款	項	決 算 額
1	国民健康保険事業収入	8,143,476,585 ^円
1	国民健康保険料収入	8,143,476,585
2	使用料及び手数料	35,400
1	手 数 料	35,400
3	国 庫 支 出 金	172,638,000
1	国 庫 補 助 金	172,638,000
4	県 支 出 金	29,134,291,556
1	県 補 助 金	29,134,291,556
5	繰 入 金	3,192,361,227
1	一 般 会 計 繰 入 金	3,192,361,227
6	繰 越 金	1,413,721,550
1	繰 越 金	1,413,721,550
7	諸 収 入	301,850,970
1	延 滞 金 及 び 過 料	26,768,751
2	市 預 金 利 子	696
3	雑 入	275,081,703
8	財 産 収 入	8,976
1	財 産 運 用 収 入	8,976
歳 入 合 計		42,358,384,264

歳 出		
款	項	決 算 額
1	国民健康保険事業費	40,820,804,248 ^円
1	国民健康保険総務費	708,187,715
2	保 険 給 付 費	28,694,341,259
3	保 健 事 業 費	209,430,051
4	諸 支 出 金	41,698,399
5	国民健康保険事業費納付金	11,167,137,848
6	基金積立金	8,976
2	予 備 費	0
1	予 備 費	0
歳 出 合 計		40,820,804,248
歳入歳出差引残額		1,537,580,016円

令和2年度横須賀市特別会計公園墓地事業費歳入歳出決算

歳 入		決 算 額
款	項	
1	使用料及び手数料	273,716,962 ^円
	1 使用料	85,254,840
	2 手数料	188,462,122
2	財産収入	102,029
	1 財産運用収入	102,029
3	繰入金	51,247,855
	1 公園墓地基金繰入金	51,247,855
4	繰越金	78,647,008
	1 繰越金	78,647,008
5	諸収入	4,997,731
	1 延滞金及び過料	47,700
	2 市預金利子	325
	3 雑収入	4,949,706
歳入合計		408,711,585

歳 出		決 算 額
款	項	
1	公園墓地事業費	283,045,705 ^円
	1 公園墓地事業費	283,045,705
	2 公債費	0
2	予備費	0
	1 予備費	0
歳出合計		283,045,705

歳入歳出差引残額 125,665,880円

令和2年度横須賀市特別会計介護保険費歳入歳出決算

歳 入		決 算 額
款	項	
1	介護保険事業収入	8,198,610,618 ^円
	1 介護保険料収入	8,198,610,618
2	使用料及び手数料	0
	1 手数料	0
3	国庫支出金	8,778,721,510
	1 国庫負担金	6,679,642,350
	2 国庫補助金	2,099,079,160
4	支払基金交付金	9,319,907,391
	1 支払基金交付金	9,319,907,391
5	県支出金	5,207,834,257
	1 県負担金	4,994,956,477
	2 県補助金	212,877,780
6	財産収入	333,125
	1 財産運用収入	333,125
7	繰入金	7,046,309,000
	1 一般会計繰入金	5,962,254,000

2	介護保険給付費準備基金繰入金	1,084,055,000
8	繰越金	2,298,931,251
	1 繰越金	2,298,931,251
9	諸収入	12,761,640
	1 延滞金及び過料	1,275,375
	2 市預金利子	2,081
	3 雑収入	11,484,184
歳入合計		40,863,408,792

歳 出		決 算 額
款	項	
1	介護保険事業費	35,118,127,502 ^円
	1 総務管理費	1,386,943,628
	2 保険給付費	33,731,183,874
2	地域支援事業費	1,173,443,861
	1 介護予防・日常生活支援総合事業費	591,442,455
	2 包括支援等事業費	582,001,406
3	基金積立金	1,120,663,290
	1 基金積立金	1,120,663,290
4	予備費	0
	1 予備費	0
歳出合計		37,412,234,653

歳入歳出差引残額 3,451,174,139円

令和2年度横須賀市特別会計母子父子寡婦福祉資金貸付事業費歳入歳出決算

歳 入		決 算 額
款	項	
1	繰入金	9,243,595 ^円
	1 一般会計繰入金	9,243,595
2	繰越金	87,336,260
	1 繰越金	87,336,260
3	諸収入	108,570,552
	1 市預金利子	190
	2 貸付金元利収入	108,547,440
	3 雑収入	22,922
歳入合計		205,150,407

歳 出		決 算 額
款	項	
1	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	26,931,732 ^円
	1 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	26,931,732
3	予備費	0
	1 予備費	0
歳出合計		26,931,732

歳入歳出差引残額 178,218,675円

令和2年度横須賀市特別会計公債管理費歳入歳出決算

歳 入		決 算 額
款	項	
1	繰 入 金	17,151,034,304 ^円
	1 一般会計繰入金	17,151,034,304
2	市 債	2,731,045,696
	1 市 債	2,731,045,696
歳 入 合 計		19,882,080,000

歳 出		決 算 額
款	項	
1	公 債 費	19,882,080,000 ^円
	1 公 債 費	19,882,080,000
歳 出 合 計		19,882,080,000

歳入歳出差引残額 0円

令和2年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算

歳 入		決 算 額
款	項	
1	後期高齢者医療保険料収入	5,680,793,053 ^円
	1 後期高齢者医療保険料収入	5,680,793,053
2	使用料及び手数料	0
	1 手 数 料	0
3	繰 入 金	1,012,526,055
	1 一般会計繰入金	1,012,526,055
4	繰 越 金	30,119,300

1	繰 越 金	30,119,300
5	諸 収 入	8,947,120
	1 延滞金及び過料	600,400
	2 償還金及び還付加算金	7,455,050
	3 市 預 金 利 子	0
	4 雑 収 入	891,670
6	国 庫 支 出 金	1,928,000
	1 国 庫 支 出 金	1,928,000
歳 入 合 計		6,734,313,528

歳 出		決 算 額
款	項	
1	後期高齢者医療事業費	148,861,524 ^円
	1 総務管理費	148,861,524
2	後期高齢者医療広域連合納付金	6,550,569,168
	1 後期高齢者医療広域連合納付金	6,550,569,168
3	予 備 費	0
	1 予 備 費	0
歳 出 合 計		6,699,430,692

歳入歳出差引残額 34,882,836円

横須賀市告示第189号

令和2年度横須賀市水道事業会計決算、同下水道事業会計決算及び同病院事業会計決算は、10月5日市議会において認定の議決を経ました。また、令和2年度横須賀市下水道事業会計の利益の処分は、10月5日市議会の議決を経ました。その要領は、次のとおりです。

令和3年10月8日

横須賀市長 上 地 克 明

令和2年度横須賀市水道事業会計決算報告

1 令和2年度横須賀市水道事業決算報告書

(単位 円)

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	決 算 額	備 考
第1款 水道事業収益	10,838,470,905	(うち、仮受消費税及び地方消費税 846,658,276円)
第1項 営業収益	9,850,842,333	(" 820,075,118円)
第2項 営業外収益	974,314,101	(" 26,317,979円)
第3項 特別利益	13,314,471	(" 265,179円)

支 出

区 分	決 算 額	備 考
第1款 水道事業費用	9,070,048,159	(うち、仮払消費税及び地方消費税 389,617,013円)
第1項 営業費用	8,833,852,381	(" 388,513,030円)
第2項 営業外費用	192,622,690	
第3項 特別損失	43,573,088	(うち、仮払消費税及び地方消費税 1,103,983円)
第4項 予備費	0	

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	決 算 額	備 考
第1款 資本的収入	741,832,870	(うち、仮受消費税及び地方消費税 19,450円)
第1項 企業債	676,000,000	
第2項 負担金	61,850,226	
第3項 補助金	3,768,704	
第4項 固定資産売却代	213,940	(うち、仮受消費税及び地方消費税 19,450円)

支 出

区 分	決 算 額	備 考
第1款 資 本 的 支 出	5,995,524,742	(うち、仮払消費税及び地方消費税 415,014,939円)
第1項 建 設 改 良 費 金	4,871,623,839	(" 415,014,939円)
第2項 企 業 債 償 還 金	1,123,900,903	

資本的収入額 741,832,870 円が、資本的支出額 5,995,524,742 円に不足する額 5,253,691,872 円は、過年度分損益勘定留保資金 3,655,806,659 円、当年度分損益勘定留保資金 282,445,459 円、建設改良積立金 901,053,692 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 414,386,062 円で補てんした。

2 令和2年度横須賀市水道事業損益計算書

(単位 円)

1 営業収益	9,030,767,215
2 営業費用	8,445,339,351

営業利益		585,427,864
3 営業外収益	948,191,416	
4 営業外費用	154,806,325	
経常利益		1,378,812,955
5 特別利益	13,049,292	
6 特別損失	42,469,105	
当年度純利益		1,349,393,142
前年度繰越利益剰余金		0
その他未処分利益剰余金変動額		911,270,127
当年度未処分利益剰余金		2,260,663,269

3 令和2年度横須賀市水道事業剰余金計算書

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	資本合計
前年度末残高	54,829,502,015	1,596,842,101	5,084,576,729	61,510,920,845
前年度処分額	2,000,000,000	-	△2,000,000,000	0
処分後残高	56,829,502,015	1,596,842,101	3,084,576,729	61,510,920,845
当年度変動額	-	-	1,349,393,142	1,349,393,142
当年度末残高	56,829,502,015	1,596,842,101	4,433,969,871	62,860,313,987

(注) △表記は、減少、損失又は欠損を示す。

4 令和2年度横須賀市水道事業剰余金処分計算書

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	56,829,502,015	1,596,842,101	2,260,663,269
議会の議決による処分額	901,053,692	-	△2,260,663,269
処分後残高	57,730,555,707	1,596,842,101	(繰越利益剰余金) 0

(注) △表記は、減少、損失又は欠損を示す。

地方公営企業法第32条第2項の規定により、令和2年度横須賀市水道事業会計未処分利益剰余金 2,260,663,269 円のうち 501,855,931 円を建設改良積立金に、857,753,646 円を半原水系統施設撤去等積立金に積み立て、901,053,692 円を資本金に組み入れる。

5 令和2年度横須賀市水道事業貸借対照表

(単位 円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産	77,257,289,708
(2) 無形固定資産	49,293,321
(3) 投資その他の資産	14,295,767,000

固定資産合計 91,602,350,029

2 流 動 資 産

(1) 現金預金	5,555,875,479
(2) 未収金	1,031,745,297
(3) 貯蔵品	5,556,722
(4) 前払金	1,247,120,000

流動資産合計 7,840,297,498

資産合計 99,442,647,527

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企業債	16,854,866,870
---------	----------------

(2) 引当金	1,116,401,741	
固定負債合計		17,971,268,611
4 流 動 負 債		
(1) 企業債	1,179,782,704	
(2) 未払金	1,690,153,329	
(3) 未払費用	23,117,879	
(4) 前受金	1,917,457	
(5) 引当金	111,678,775	
(6) 預り金	83,760,079	
流動負債合計		3,090,410,223
5 繰 延 収 益		
(1) 長期前受金	15,520,654,706	
繰延収益合計		15,520,654,706
負債合計		36,582,333,540
資 本 の 部		
6 資 本 金		
(1) 資本金	56,829,502,015	
資本金合計		56,829,502,015
7 剰 余 金		
(1) 資本剰余金	1,596,842,101	
(2) 利益剰余金	4,433,969,871	
剰余金合計		6,030,811,972
資本合計		62,860,313,987
負債資本合計		99,442,647,527

注記

- I. 重要な会計方針に係る事項
- 1 資産の評価基準及び評価方法
- (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法
- ア 貯蔵品 移動平均法による原価法
(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
- 2 固定資産の減価償却の方法
- (1) 有形固定資産
- ア 減価償却の方法 定額法
(ただし、口径100ミリメートル以下の配水管及び直接需要者の用に供する量水器である取替資産については、取替法による。)
- イ 主な耐用年数
- | | |
|-----------|--------|
| 建物 | 15～50年 |
| 構築物 | 20～60年 |
| 機械及び装置 | 8～20年 |
| 車両運搬具 | 3～5年 |
| 工具、器具及び備品 | 5～8年 |
- (2) 無形固定資産
- ア 減価償却の方法 定額法
- イ 主な耐用年数
- | | |
|--------|-----|
| 地上権 | 5年 |
| 施設利用権 | 20年 |
| ソフトウェア | 5年 |
- 3 引当金の計上方法
- (1) 貸倒引当金
債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。
- (2) 退職給付引当金
職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 賞与引当金
職員の期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。
- 4 消費税及び地方消費税の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によ

- ている。
- II. 貸借対照表等関連
- 1 引当金の取崩し
- (1) 貸倒引当金の取崩し
- ア 当年度において、債権の不納欠損による損失2,075,814円に充てるため、貸倒引当金2,075,814円を使用した。
- イ 貸倒引当金使用後の残額と当年度末における貸倒引当金必要額との差額2,626,237円を収益として戻入した。
- (2) 退職給付引当金の取崩し
- ア 当年度において、退職手当の支給83,850,970円に充てるため、退職給付引当金83,850,970円を使用した。
- (3) 賞与引当金の取崩し
当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出329,386,965円に充てるため、賞与引当金113,477,305円を使用した。
- III. セグメント情報の開示
横須賀市水道事業では、水道事業のみを運営しているため、事業全体を一つのセグメントとして区分している。
- IV. 減損損失
- 1 グルーピングの方法
水道事業会計において使用している固定資産については、水道水の製造から販売まですべての資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、1つの資産グループとしている。なお、遊休資産等については、個々の物件ごとにグルーピングしている。
- 2 減損損失を認識した資産グループ等の概要
- (1) 減損の兆候が認められた固定資産又は固定資産グループ(減損損失を認識した固定資産又は固定資産グループを除く。)
- ア 固定資産又は固定資産グループの内容を理解するために必要と認められる事項の概要
固定資産又は固定資産グループの概要は以下のとおりである。

場 所	名 称	用 途	種 類	土地面積 (m ²)	帳簿価額(円) 令和3年3月31日現在
横須賀市浦賀	旧浦賀配水池	遊休資産	土地	8,633	1,568,078
横須賀市坂本町	旧汐見配水池	遊休資産	土地	1,484	35,230
横須賀市東逸見町	旧沢山配水池	遊休資産	土地	1,138	32,469
横須賀市須軽谷	旧須軽谷配水池	遊休資産	土地	751	5,500,666
横須賀市佐野町	旧富士見配水池	遊休資産	土地	552	715,935
横須賀市秋谷	旧秋谷ポンプ所ほか	遊休資産	土地	747	21,644,855
横須賀市阿部倉	旧阿部倉配水池	遊休資産	土地	118	1,707,574
横須賀市津久井	旧津久井テレメータ室	遊休資産	土地	68	1,289,853
横須賀市田浦町	旧月見台住宅配水槽	遊休資産	土地	43	83,400
葉山町下山口	旧秋谷配水池	遊休資産	土地	873	8,101,548
藤沢市渡内	旧渡内ポンプ所	遊休資産	土地	1,364	14,437,162
愛甲郡愛川町半原 ほか	旧半原水源地ほか	遊休資産	土地	17,819	4,787,294
横須賀市長瀬	旧長瀬資材管理所	遊休資産	土地	1,094	33,758,143
計				34,684	93,662,207

※上記の表には、当年度以前に減損損失を計上し帳簿価額が備忘価額の資産は記載していない。

イ 認められた減損の兆候
 上記資産は、遊休状態にあるため減損の兆候を把握した。
 ウ 減損損失を認識するに至らなかった理由
 上記資産は、路線価による相続税評価額、固定資産税評価額又は不動産鑑定士による鑑定評価額を参

考に算出した評価額が帳簿価額を上回る見込みであることから、減損損失を認識していない。
 (2) 減損損失を認識した固定資産又は固定資産グループ
 ア 固定資産又は固定資産グループの内容を理解するために必要と認められる事項の概要
 固定資産又は固定資産グループの概要は以下のとおりである。

場 所	名 称	用途	種 類	土地面積 (m ²)	帳簿価額 (円) 令和3年3月31日 現在	減損損失の金額 (円)
横須賀市 久比里	久里浜配水池	遊休 資産	建物構築物	-	18,270,830	18,270,824
計				-	18,270,830	18,270,824

イ 減損損失を認識するに至った経緯
 上記資産は、用途を廃止した資産であり回収可能価額が帳簿価額を下回る見込みであるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上した。
 ウ 減損損失の金額及び固定資産の種類ごとの当該金額の内訳

種 類	減損損失の金額 (円)
建物	1,833,469
構築物	16,437,355
計	18,270,824

エ 回収可能価額の算定方法
 当該資産は、稼働中施設内に残存する資産で売却しないため、回収可能価額は備忘価額とした。

V. リース契約により使用する固定資産
 1 リース取引の処理方法
 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

令和2年度横須賀市下水道事業会計決算報告

1 令和2年度横須賀市下水道事業決算報告書 (単位 円)

(1) 収益的収入及び支出
 収 入

区 分	決 算 額	備 考
第1款 下水道事業収益	15,449,683,379	(うち、仮受消費税及び地方消費税 696,477,090円)
第1項 営業収益	9,673,129,651	(" 695,052,903円)
第2項 営業外収益	5,629,960,659	(" 1,306,082円)
第3項 特別利益	146,593,069	(" 118,105円)

支 出

区 分	決 算 額	備 考
第1款 下水道事業費用	14,211,922,043	(うち、仮払消費税及び地方消費税 357,933,880円)
第1項 営業費用	13,057,952,483	(" 355,964,495円)
第2項 営業外費用	968,017,065	(" 48,742円)
第3項 特別損失	185,952,495	(" 1,920,643円)
第4項 予備費	0	

(2) 資本的収入及び支出
 収 入

区 分	決 算 額	備 考
第1款 資本的収入	10,357,985,873	
第1項 企業債	6,296,000,000	
第2項 負担金及び分担金	837,099,561	
第3項 補助金	3,224,882,012	
第4項 固定資産売却代	4,300	

支 出

区 分	決 算 額	備 考
第1款 資本的支出	14,409,825,597	(うち、仮払消費税及び地方消費税 522,284,199円)
第1項 建設改良費	6,607,396,600	(" 522,284,199円)
第2項 企業債償還金	7,802,428,997	

資本的収入額 10,153,085,873 円 (前年度決算で財源充当した前年度同意済企業債本年度収入額 204,900,000 円を除く。)が、資本的支出額 14,409,825,597 円に不足する額 4,256,739,724 円

は、過年度分損益勘定留保資金 1,678,827,233 円、当年度分損

益勘定留保資金 1,378,379,328 円、減債積立金 940,781,713 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 258,751,450 円で補てんした。

2 令和2年度横須賀市下水道事業損益計算書

(単位 円)

1 営業収益	8,978,076,748	
2 営業費用	12,701,987,988	
営業利益		△3,723,911,240
3 営業外収益	5,628,938,959	

4 営業外費用	888,460,945	
経常利益		1,016,566,774
5 特別利益	146,474,964	
6 特別損失	184,031,852	
当年度純利益		979,009,886
前年度繰越利益剰余金		0
その他未処分利益剰余金変動額		940,781,713
当年度未処分利益剰余金		1,919,791,599

3 令和2年度横須賀市下水道事業剰余金計算書

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	資本合計
前年度末残高	16,730,048,970	21,383,122,315	1,760,810,880	39,873,982,165
前年度処分額	820,029,167	-	△820,029,167	0
処分後残高	17,550,078,137	21,383,122,315	940,781,713	39,873,982,165
当年度変動額	-	1,393,000	979,009,886	980,402,886
当年度末残高	17,550,078,137	21,384,515,315	1,919,791,599	40,854,385,051

(注) △表記は、減少、損失又は欠損を示す。

4 令和2年度横須賀市下水道事業剰余金処分計算書

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	17,550,078,137	21,384,515,315	1,919,791,599
議会の議決による処分額	940,781,713	-	△1,919,791,599
処分後残高	18,490,859,850	21,384,515,315	(繰越利益剰余金) 0

(注) △表記は、減少、損失又は欠損を示す。

地方公営企業法第32条第2項の規定により、令和2年度横須賀市下水道事業会計未処分利益剰余金 1,919,791,599 円のうち 979,009,886 円を減債積立金に積み立て、940,781,713 円を資本金に組み入れる。

5 令和2年度横須賀市下水道事業貸借対照表

(単位 円)

資産の部

1 固定資産		
(1) 有形固定資産	231,133,283,509	
(2) 無形固定資産	18,892,951	
固定資産合計		231,152,176,460
2 流動資産		
(1) 現金預金	3,424,152,785	
(2) 未収金	832,098,094	
(3) 前払金	733,180,000	
流動資産合計		4,989,430,879
資産合計		236,141,607,339
負債の部		
3 固定負債		
(1) 企業債	69,934,931,049	
(2) 引当金	634,670,304	
固定負債合計		70,569,601,353
4 流動負債		
(1) 企業債	7,676,262,577	
(2) 未払金	2,098,612,441	
(3) 未払費用	76,929,497	
(4) 前受金	45,793	
(5) 引当金	61,467,224	
(6) 預り金	8,213,429	
流動負債合計		9,921,530,961

5 繰延収益		
(1) 長期前受金	112,961,922,391	
建設仮勘定		
(2) 長期前受金	1,834,167,583	
繰延収益合計		114,796,089,974
負債合計		195,287,222,288
資本の部		
6 資本金		
(1) 資本金	17,550,078,137	
資本金合計		17,550,078,137
7 剰余金		
(1) 資本剰余金	21,384,515,315	
(2) 利益剰余金	1,919,791,599	
剰余金合計		23,304,306,914
資本合計		40,854,385,051
負債資本合計		236,141,607,339

注記

I. 重要な会計方針に係る事項

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産	
ア 減価償却の方法	定額法
イ 主な耐用年数	
建物	50年
構築物	30～50年
機械及び装置	10～20年
車両運搬具	4～5年
工具、器具及び備品	4～20年
(2) 無形固定資産	
ア 減価償却の方法	定額法

イ 主な耐用年数
 地上権 5年
 ソフトウェア 5年

2 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金
 債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金
 職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。なお、繰出基準に基づき、雨水に係る経費として一般会計が負担する金額 286,476,726 円を除く。

(3) 賞与引当金
 職員の期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。なお、繰出基準に基づき、雨水に係る経費として一般会計が負担する金額 24,766,297 円を除く。

3 消費税及び地方消費税の会計処理
 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

II. 貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担
 貸借対照表に計上されている企業債（当年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担する額は 42,952,960,905円である。

2 引当金の取崩し

(1) 貸倒引当金の取崩し
 ア 当年度において、債権の不納欠損による損失 3,856,720 円に充てるため、貸倒引当金 3,856,720 円

を使用した。

イ 貸倒引当金使用後の残額と当年度末における貸倒引当金必要額との差額9,598円を収益として戻入した。

(2) 退職給付引当金の取崩し
 当年度において、退職手当の支給 33,583,093 円（一般会計が負担する額 15,158,697円を除く。）に充てるため、退職給付引当金 33,583,093円を使用した。

(3) 賞与引当金の取崩し
 当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに係る法定福利費の支出 252,161,394 円に充てるため、賞与引当金 58,013,989 円を使用した。

III. セグメント情報の開示
 横須賀市下水道事業では、公共下水道事業のみを運営しているため、事業全体を一つのセグメントとして区分している。

IV. 減損損失

1 グルーピングの方法
 下水道事業会計において使用している固定資産については、生活排水等や雨水の受入れから、浄化処理、排水・下水汚泥処理を行うまですべての資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、1つの資産グループとしている。なお、遊休資産等については、個々の物件ごとにグルーピングしている。

2 減損損失を認識した資産グループ等の概要

(1) 減損損失を認識した固定資産又は固定資産グループ
 ア 固定資産又は固定資産グループの内容を理解するために必要と認められる事項の概要
 固定資産又は固定資産グループの概要は以下のとおりである。

場 所	名 称	用途	種 類	土地面積 (m ²)	帳簿価額 (円) 令和3年3月31日 現在	減損損失の金額 (円)
横須賀市 三春町	下町浄化センター	遊休 資産	建物 構築物 機械及び装置	—	159,864,879	159,864,731
計				—	159,864,879	159,864,731

イ 減損損失を認識するに至った経緯
 上記資産は、用途を廃止した資産であり回収可能価額が帳簿価額を下回る見込みであるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上した。

ウ 減損損失の金額及び固定資産の種類ごとの当該金額の内訳

種 類	減損損失の金額 (円)
建物	27,140,771
構築物	27,426,107
機械及び装置	105,297,853
計	159,864,731

エ 回収可能価額の算定方法
 当該資産は、稼働中施設内に残存する資産で売却しないため、回収可能価額は備忘価額とした。

V. リース契約により使用する固定資産

1 リース取引の処理方法
 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

令和2年度横須賀市病院事業会計決算報告

1 令和2年度横須賀市病院事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出
 収 入

区 分	決 算 額	備 考
第1款 市民病院事業収益	2,352,324,116	
第1項 医 業 収 益	418,600,340	(うち、仮受消費税及び地方消費税 1,509,122円)
第2項 医 業 外 収 益	1,933,723,776	(" 1,314,553円)
第2款 うわまち病院事業収益	2,443,163,816	
第1項 医 業 収 益	19,385,548	(うち、仮受消費税及び地方消費税 1,762,323円)
第2項 医 業 外 収 益	2,423,778,268	(" 1,586,924円)
合 計	4,795,487,932	

支 出

区 分	決 算 額	備 考
第1款 市民病院事業費用	2,656,938,737	
第1項 医業費用	2,626,032,288	(うち、仮払消費税及び地方消費税 11,782,513円)
第2項 医業外費用	23,623,277	
第3項 特別損失	7,283,172	
第2款 うわまち病院事業費用	2,389,014,046	
第1項 医業費用	2,361,188,707	(うち、仮払消費税及び地方消費税 13,332,886円)
第2項 医業外費用	27,825,339	
合 計	5,045,952,783	

(2) 資本の収入及び支出

収 入

(単位 円)

区 分	決 算 額	備 考
第1款 市民病院資本的収入	183,929,000	
第1項 企業債	125,700,000	
第2項 補助金	58,229,000	
第2款 うわまち病院資本的収入	200,729,000	
第1項 出資金	105,000,000	
第2項 補助金	95,729,000	
合 計	384,658,000	

支 出

区 分	決 算 額	備 考
第1款 市民病院資本的支出	606,418,488	
第1項 建設改良費	321,159,165	(うち、仮払消費税及び地方消費税 29,196,287円)
第2項 企業債償還金	285,259,323	
第2款 うわまち病院資本的支出	700,979,982	
第1項 建設改良費	499,914,482	(うち、仮払消費税及び地方消費税 39,366,580円)
第2項 企業債償還金	201,065,500	
合 計	1,307,398,470	

資本的収入額 384,658,000 円が資本的支出額 1,307,398,470 円に不足する額 922,740,470 円は、過年度分損益勘定留保資金 871,012,441 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 51,728,029 円で補てんした。

2 令和2年度横須賀市病院事業損益計算書

(単位 円)

1 医業収益	434,714,443	
2 医業費用	4,962,105,596	
医業損失		4,527,391,153

3 医業外収益	4,301,008,429	
4 医業外費用	68,526,984	
経常損失		294,909,708
5 特別損失	7,283,172	
当年度純損失		302,192,880
前年度繰越欠損金		6,165,356,355
当年度未処理欠損金		6,467,549,235

3 令和2年度横須賀市病院事業剰余金計算書

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	欠損金	資本合計
前年度末残高	12,660,956,193	4,061,627,104	△6,165,356,355	10,557,226,942
前年度処分額	0	0	0	0
処分後残高	12,660,956,193	4,061,627,104	△6,165,356,355	10,557,226,942
当年度変動額	105,000,000	0	△302,192,880	△197,192,880
当年度末残高	12,765,956,193	4,061,627,104	△6,467,549,235	10,360,034,062

(注) △表記は、減少、損失又は欠損を示す。

4 令和2年度横須賀市病院事業欠損金処理計算書

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	12,765,956,193	4,061,627,104	△6,467,549,235
処 理 額	0	0	0
処 理 後 残 高	12,765,956,193	4,061,627,104	(繰越欠損金) △6,467,549,235

(注) △表記は、欠損を示す。

5 令和2年度横須賀市病院事業貸借対照表
(単位 円)

資 産 の 部		
1 固 定 資 産		
(1) 有形固定資産	11,860,571,644	
(2) 無形固定資産	3,681,300	
固定資産合計		11,864,252,944
2 流 動 資 産		
(1) 現金預金	3,509,229,101	
(2) 未収金	2,716,595,345	
貸倒引当金	△4,058,430	
(3) 未収収益	284	
(4) 前払費用	7,871	
流動資産合計		6,221,774,171
資 産 合 計		18,086,027,115
負 債 の 部		
3 固 定 負 債		
(1) 企業債	3,588,589,388	
(2) 引当金	51,229,907	
固定負債合計		3,639,819,295
4 流 動 負 債		
(1) 企業債	499,324,149	
(2) 未払金	2,803,637,005	
(3) 未払費用	1,758,056	
(4) 引当金	9,836,809	
(5) 預り金	3,569,620	
流動負債合計		3,318,125,639
5 繰 延 収 益		
(1) 長期前受金	768,048,119	
繰延収益合計		768,048,119
負 債 合 計		7,725,993,053
資 本 の 部		
6 資 本 金		
(1) 資本金	12,765,956,193	
資本金合計		12,765,956,193
7 剰 余 金		
(1) 資本剰余金	4,061,627,104	
(2) 欠損金	6,467,549,235	
剰余金合計		△ 2,405,922,131
資 本 合 計		10,360,034,062
負債資本合計		18,086,027,115

注記

- I. 重要な会計方針に係る事項
- 1 固定資産の減価償却の方法
- (1) 有形固定資産
- ア 減価償却の方法 定額法
- イ 減価償却の開始時期 事業の用に供した日の属する月から
- ウ 主な耐用年数
- | | |
|--------|--------|
| 建物 | 6～47年 |
| 構築物 | 10～50年 |
| 器具及び備品 | 4～20年 |

- 2 引当金の計上方法
- (1) 貸倒引当金
債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。
- (2) 退職給付引当金
職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。ただし、うわまち病院事業における新市立病院建設事業に従事する職員の退職手当について、一般会計負担とすることとしているため、当該金額については退職給付引当金計上額から除いている。
- (3) 賞与引当金
職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。
- (4) 法定福利費引当金
賞与引当金に対応する額を計上している。
- 3 消費税及び地方消費税の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。
- II. 貸借対照表等関連
- 1 引当金の取崩し
- (1) 貸倒引当金の取崩し
ア 当年度において、債権の不納欠損による損失459,520円に充てるため、貸倒引当金459,520円を使用した。
イ 貸倒引当金使用後の残額と当年度末における貸倒引当金所要額との差額742,113円を収益として戻入した。
- (2) 退職給付引当金の取崩し
退職給付引当金の残額と当年度末における退職給付引当金所要額との差額5,283,421円を収益として戻入した。
- (3) 賞与引当金の取崩し
当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に充てるため、賞与引当金5,301,305円を使用した。
- (4) 法定福利費引当金の取崩し
当年度において、賞与引当金取崩しに対応する法定福利費引当金1,108,466円を使用した。

III. セグメント情報の開示

- 1 報告セグメントの概要
- 当会計は、市民病院、うわまち病院の2つの施設を運営しており、施設ごとに運営方針等を決定していることから、「市民病院事業」、「うわまち病院事業」の2つを報告セグメントとしている。
- 各施設については、分離された財務情報が入手可能であり、予算審議及び決算認定をするために、定期的に市議会に報告する対象となっているものである。
- 各施設の事業内容は以下のとおりである。

区 分	事 業 の 内 容
市民病院事業	地域医療支援病院、災害拠点病院
うわまち病院事業	地域医療支援病院、救命救急センター

2 報告セグメントごとの事業収益等
当年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

	(単位 円)		
	市民病院	うわまち病院	合 計
医 業 収 益	417,091,218	17,623,225	434,714,443
医 業 費 用	2,614,249,775	2,347,855,821	4,962,105,596
医 業 損 益	△2,197,158,557	△2,330,232,596	△4,527,391,153
経 常 損 益	△321,185,058	26,275,350	△294,909,708
セグメント資産	7,317,456,598	10,768,570,517	18,086,027,115
セグメント負債	3,050,290,712	4,675,702,341	7,725,993,053

その他の項目			
収益的収入他会計繰入金	623,000,000	0	623,000,000
資本的収入他会計繰入金	0	105,000,000	105,000,000
減価償却費	556,731,801	354,779,627	911,511,428
特別損失	7,283,172	0	7,283,172
うち減損損失	7,283,172	0	7,283,172
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	311,437,104	396,078,802	707,515,906

IV. 減損損失

1 グルーピングの方法

キャッシュ・フローを生成する最小単位として病院施設を単位とし、遊休資産については個々の物件単位でグルーピングしている。

2 減損の兆候について

当年度において、以下の固定資産グループについて減損の兆候を認識した。

用途	種類	場所
----	----	----

市民病院	土地、建物、器具及び備品	横須賀市長坂1丁目
------	--------------	-----------

上記固定資産グループは、業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなる状況であるため、減損の兆候を認識しているが、割引前キャッシュ・フローの総額が帳簿簿額を上回るため、減損損失を認識していない。

3 減損損失を認識した固定資産グループ

(1) 減損損失を認識した固定資産

ア 固定資産の概要

用途	施設・場所	種類	帳簿価額	
			令和3年3月31日現在	減損損失の金額
遊休資産	旧太田和医師公舎・看護師宿舎 (横須賀市太田和2丁目)	土地、建物、構築物	80,716,831円	7,283,172円
計			80,716,831円	7,283,172円

(注) 帳簿価額は、減損損失控除前の額である。

イ 減損損失を認識するに至った経緯

上記固定資産は、遊休状態にあり回収可能価額が帳簿価額を下回るため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を特別損失に計上した。

ウ 減損損失の金額及び固定資産の種類ごとの当該金額の内訳

種類	金額
土地	7,283,172円
建物	0円
構築物	0円
計	7,283,172円

エ 回収可能価額の算出方法

当該固定資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額については、同一需給圏内に設定されている地価公示標準地における公示価格を参考に合理的に算定した価額とした。

なお、建物及び構築物の正味売却価額は備忘価額とした。

横須賀市告示第190号

令和3年度横須賀市一般会計補正予算(第8号)及び同一一般会計補正予算(第9号)は、10月5日市議会の議決を経ました。その要領は、次のとおりです。

令和3年10月8日

横須賀市長 上 地 克 明

令和3年度横須賀市一般会計補正予算(第8号)

令和3年度横須賀市の一般会計補正予算(第8号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ162,799千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ163,219,598千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

款	項	補正前の額	補正額	計
		千円	千円	千円
17 県 支 出 金		10,180,864	157,799	10,338,663
	2 県 補 助 金	2,990,706	157,799	3,148,505
20 繰 入 金		5,389,586	5,000	5,394,586
	1 基 金 繰 入 金	5,386,462	5,000	5,391,462
歳 入 合 計		163,056,799	162,799	163,219,598

歳 出

款	項	補正前の額	補正額	計
		千円	千円	千円

4 衛 生 費		10,904,924	162,799	11,067,723
	1 保 健 衛 生 費	10,904,924	162,799	11,067,723
歳 出 合 計		163,056,799	162,799	163,219,598

令和3年度横須賀市一般会計補正予算(第9号)

令和3年度横須賀市の一般会計補正予算(第9号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ24,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ163,243,598千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第1表 歳入歳出予算補正
歳 入

款	項	補正前の額 千円	補正額 千円	計 千円
16 国 庫 支 出 金		31,022,455	21,600	31,044,055
	2 国 庫 補 助 金	11,078,886	21,600	11,100,486
20 繰 入 金		5,394,586	2,400	5,396,986
	1 基 金 繰 入 金	5,391,462	2,400	5,393,862
歳 入 合 計		163,219,598	24,000	163,243,598

歳 出

款	項	補正前の額 千円	補正額 千円	計 千円
4 衛 生 費		11,067,723	24,000	11,091,723
	1 保 健 衛 生 費	11,067,723	24,000	11,091,723
歳 出 合 計		163,219,598	24,000	163,243,598